

平成 30 年度第 1 回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事概要 《確定版》

1. 会議概要

- ・日 時 平成 30 年 12 月 25 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 50 分
- ・場 所 山武市役所 第 5 会議室
- ・出席委員 鈴木委員、齊藤委員（副座長）、大高委員、三橋委員、安田委員、佐藤委員、堀井委員、寺澤委員（座長）、光本委員、進士委員、白井委員【計 11 名】
- ・欠席委員 浪川委員、木俣委員、名取委員、山本委員【計 4 名】
- ・事務局 松下市長、石橋総務部長、中村企画政策課長、岩澤政策・シティセールス推進係長、瓜生主事【計 5 名】

2. 議事（1）副座長の選出について

- ・要綱に基づき、座長指名により、齊藤委員が選出された。

3. 議事（2）地方創生総合戦略の進捗状況及び計画変更について

事務局説明

- ・事務局から、【資料 1 - 1】及び【資料 1 - 2】を用いて、戦略の進捗状況について説明。加えて、【資料 2 - 1】及び【資料 2 - 2】を用いて、戦略の変更内容について説明。

委員質疑及び対応

- ・基本目標 3 の数値目標「合計特殊出生率」の設定根拠はどうなっているのか。また、平成 29 年度時点：0.91 となっており、目標値：1.60（H31）に向けて、具体的な対策はあるのか。
⇒策定当時としては、政府目標（人口置換水準 2.07）に準じ、目標値設定を行った。現状としては、国全体としても芳しくなく、山武市の現状は更に深刻であることは認識しているが、現在、この現状に対して十分対応できていない旨、回答。
- ・基本目標 2 の数値目標に「中学校卒業時に英語検定 3 級以上を取得している生徒の割合」とあるが、その設定根拠や補助制度の有無、また、GTEC 等の存在感が増している中、英語検定が採用されている理由は何か。
⇒本指標の設定背景は、成田空港への就業者増加に当たり、語学障壁を取り除くことにある。このため、市独自の受験料等の補助を行っている。また、文科省からの要請もあり英語検定を採用しているのが、実情となっている旨、回答。
- ・基本目標 3 の重要業績評価指標（KPI）に「市内産科医師数」があるが、計画策定時 1 名だったものが、現在 3 名に増加した要因について、説明されたい。
⇒当時、市長自ら大学等に出向き、医師の派遣を依頼した。依頼先は県内に限らなかったと聞いている旨、説明。

会議結果

- ・戦略の実施に当たっては、出生率の改善に重点化する必要があるとの、意見があった。
- ・計画変更については、原案のとおり、了承された。

4. 議事（3）地方創生推進交付金の活用状況及び計画変更について

事務局説明

- ・事務局から、【資料 3】を用いて、交付金の活用状況について説明。加えて、【資料 4】を用いて、交付金計画の変更について、説明。
- ・下記のとおり、交付金事業についての有効性評価 [A. 非常に地方創生に効果があった、B. 相当程度地方創生に効果があった、C. 地方創生に効果があった、D. 地方創生に効果がなかった] を報告。
 - 成田空港南側圏グローバル人材育成事業 ⇒ C. 地方創生に効果があった
 - 山武市エコノミックガーデニング推進事業 ⇒ B. 相当程度地方創生に効果があった

委員質疑及び対応

- ・【資料 4】の裏面、「環境変化欄」の「H33～」部分に、遊休施設の発生とあるが、どこを想定しているのか。また、学校の統廃合は地元理解が得られていないと考えているが、新規に施設整備を行うのか。加えて、交付金上、施設整備に係る経費は支出しているのか。
- ⇒遊休施設の発生箇所としては、当時の小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（案）に基づき、廃校予定とした成東中、蓮沼中、日向小、山武西小の 4 か所を想定していた。整備経費と学校経営の観点から、中学校施設が望ましいとの判断になっているが、現在、成東中、蓮沼中の 2 校については、その見通しが立っていないことは、市長部局としても理解している旨、説明。
- ⇒地方創生推進交付金は、ソフト事業に特化した補助制度であるため、現時点ではこれを以って新規の施設整備は困難であると考えている。加えて、交付金の制度は、毎年度、所要額の積算及び市予算への計上を行った上で、交付申請・交付決定の形を取っている旨、説明。
- ・エコノミックガーデニング（EG）の取組に関しては、長期的な視野を持って協力いただきたい。産業振興、とりわけ地域内雇用の充実は定住に関しても当然寄与するものである。また、EG 振興に当たっては、「第 2 創業支援」が重要となっている。国や県、金融機関も手薄となっているので、市の対応が望ましいと考える。
- ⇒担当課と協議しながら、今後の対応を検討していきたい旨、回答。
- ・【資料 3】の 4 ページ、通番 5 に「地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業」があるが、事業概要欄の「NPO 法人教育サポート GAA」の取組について説明されたい。また、参画者に疑義がある点があるので、政治的な中立性が担保されるような制度設計が必要でないか。
- ⇒当該法人の設立の経緯として、地域人材（教員OB等）の活躍を得ながら、児童生徒の課外活動を充実させる取組である旨、説明。取組内容の報告としては、政治的な中立性が阻害されるような報告はないが、担当課に伝え徹底する旨、回答。

会議結果

- ・交付金の活用状況としては、EG 事業の深化、グローバルキャリア教育事業の透明性確保について、意見があった。交付金事業の有効性評価としては、原案のとおり、了承された。
- ・交付金計画の変更についても、事実確認の上、原案のとおり、了承された。

5. 議事（4）第 2 次山武市総合計画の策定状況について

事務局説明

・事務局から、【資料 5】を用いて、現在、総合計画審議会等で諮られている内容について、概要説明。

委員質疑及び対応

・【資料 5】の P. 15 について、合計特殊出生率は直近値（0.91）に更新するのか。深刻な状況の共通認識は持つべきではないか。

⇒作成期間が 2 年半に及んでいるため、完成時には他の指標も含めて、時点修正を行う予定である旨、説明。

・【資料 5】の P. 43 に、ブルーフラッグの取組が書かれているが、詳細を説明されたい。加えて、市民含めた周知が重要だと思うが、どのように考えているのか。

⇒国内審査、国際審査を経て、来年 5 月を目途に結果報告がある見込み。周知については、ご意見として担当課に伝える旨、回答。

・【資料 5】の P. 21-22 に、財政状況が記載されているが、さんむ医療センターの建替えについては考慮されているのか。市民生活上、必要性は理解できるが、市の人口が 5 万人規模で更に減少していく中で、建替費用が 95 億円程度と聞いているが、財政運営上、問題ないのか。

⇒病院に当たっては、経営面も重要であり、現在、基準内で黒字で運営されているところ。建設に当たっても、起債等を考慮した財政計画に基づき実施することとしたい旨、回答。

・【資料 5】の P. 34 の基本事業 2 の指標「成田空港方面への 1 日当たりのバス利用者数」について、成田空港の機能強化が議論されている中、向上させる必要があるのではないか。

⇒本指標は、空港シャトルバスの利用者数となっており、今後、実証実験中の成東・山武方面から成田空港方面に向かう「さんむウィングライナー」の利用促進により向上が見込める旨、回答。

・【資料 5】の P. 52、施策の成果指標となっている「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」を更に高めていく必要があると考える。具体的には、60 歳以上の層で、女性の社会進出に意識改革が必要だと思われる。

⇒現在策定中の第 3 次男女共同参画計画において、中学生の意識改革が進んでいることを確認している。同計画に基づき、取組を深化させたい旨、回答。

・男女共同参画とあるが、具体的には何を指しているのか。また、男女共同参画に係る国家予算は、8 兆円と聞いているが、経費の使途はどうなっているのか。

⇒職場及び家庭内で、男女の区別なく、自発的に分け隔てなく取組める環境づくりが、男女共同参画社会である。また、国家予算については、男性の育児休業取得等の民間企業の取組に係る支援等も含まれている旨、回答。

・男女共同参画に関して、EG の側面からは、事業者による「働きやすい環境づくり」があると考えている。これに関して、EG で就職フェアも行ったが、市を中心に雇用者と被雇用者間のマッチング事業を進めることが必要と考える。

⇒ご意見として、担当課に伝える旨、回答。

- ・総合計画上、成田空港の機会を捉える記載はどこにあるのか。また、具体的な記載はあるのか。
⇒【資料 5】のうち、基本構想（P. 26）及び基本計画の該当部分（P. 33、P. 42）にそれぞれ記載している。基本計画としては成果指標として取組数の記載に留まっているが、今後作成予定の実施計画においては、具体的な記載を盛り込む予定である旨、回答。
- ・【資料 5】の P. 53 の指標に、「NPO・ボランティア活動をしている市民割合」があるが、更に高めていく必要があると考える。PTAに参画している実感としては、9割が女性である。市内で働ける環境づくりが、延いては父親の参画を促すことにつながると考える。
⇒意見として承る旨、回答。
- ・農業委員として現地確認を行う中では、農業の高齢化や後継者不足を感じる。【資料 5】の P. 41 の指標に「認定農業者数」があるが、どのような目標設定になっているのか。
⇒本指標については、重点分野に設定しており、5%程度の向上を見込んで目標値設定している旨、回答。
- ・EGでの検討においても、新規就農者の増加を考えた場合、生業としての農業の厳しさを知ってもらうことが重要だと考えている。その上で、市内に就農した場合に、農家用住宅の確保が課題となっており、空き家バンクの創設等の対応が必要と考えている。
⇒意見として承る旨、回答。
- ・【資料 5】の P. 44 「高齢者福祉の充実」に関しては、社会福祉協議会ははじめ、介護予防に関する取組が進んできている状況。今後も、注力する必要があると考える。
⇒意見として承る旨、回答。

会議結果

- ・本会議での質疑及びパブリックコメント等の状況を踏まえながら、関係各課に確認を行い、計画案を取りまとめ、総合計画審議会や議会での審議に付すこととする。

5. 議事（5）その他

- ・特になし。

以上